

食堂で鶏を捕まえる

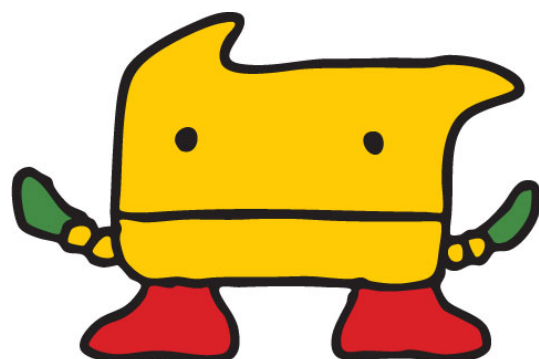
リポジトリ草の根営業活動報告

兵庫教育大学附属図書館 学術情報チーム

永 井 一 樹

● 平成20年度CSI委託事業報告交流会(コンテンツ系) H21.7.9

兵庫教育大学について



ひょうちゃん

創立 昭和53年

学生数 1,597名

(学部 710 修士 762 博士 125)

教員数 162名

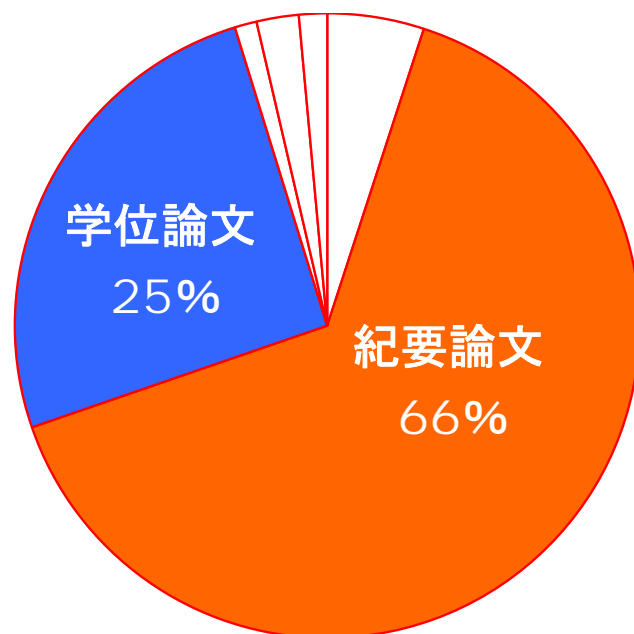
図書館職員数 8名

(H21年度データ)

- ・教員就職率5年連続1位(国立の教員養成大学・学部)
- ・教職大学院の設置



兵庫教育大学学術情報リポジトリ



登録コンテンツ割合 (H21.6現在)

CSI委託事業

H18年度 システム(Dspace)導入

H19年度 紀要論文を中心に

H20年度 学位論文を中心に

コンテンツの9割は

遡及的な仕事...

C.リンチ

「機関リポジトリは、デジタル媒体を基本的手法として利用する新しい学術コミュニケーションの形態を模索し、採用することを促すことができる。私が考えるに、おそらくこれが機関リポジトリのもっとも重要で**刺激的な**利点である。」⁽¹⁾

R.クロウ

「(学術機関リポジトリは)学術コミュニケーションの構造を、時間をかけて**根底から変えていく**役割を果たす」⁽²⁾

阿藤品治夫さん

「IRは、首尾よくいけば、大学自体、研究分野自体の有り様がドラステックに再構築される可能性もあり、本当に首尾よくいけば、図書館という仲介者をなくせる可能性も秘めた**爆弾のような**事業である」⁽³⁾

言葉と実作業とのギャップ・・・



落ちているものばかり
拾ってたらダメだ

新スローガン(H20年後半から)

1000個の**卵**より、1羽の**鶏**を

R.クロウ

「学術機関リポジトリは、図書館員が分野を越えて**教員と協調**
するメカニズムを提供してくれる」⁽²⁾

教員を誘引するための様々な「+α」

- ・業績DBとの連携 → 業績DBがない
- ・AIRwayへの参加 → リンクリゾルバがない
- ・電子出版システムとの連携
→ 学内編集委員会との没交渉

実装の壁



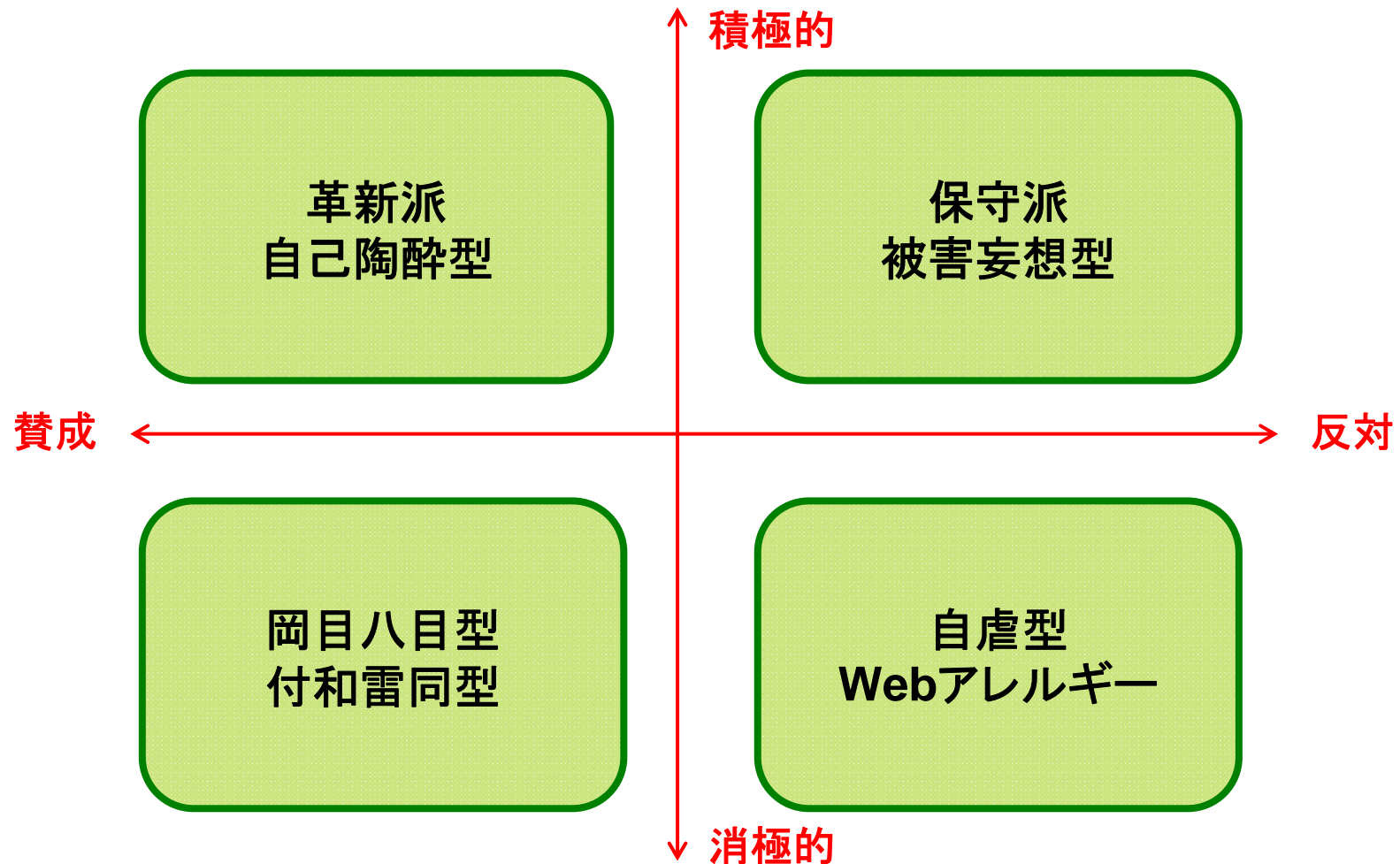
とりあえず今すぐにひとりでもできることからやらねば・・・

▶▶▶ 学生食堂でのゲリラ的個別営業活動を開始

食堂で活動するメリット

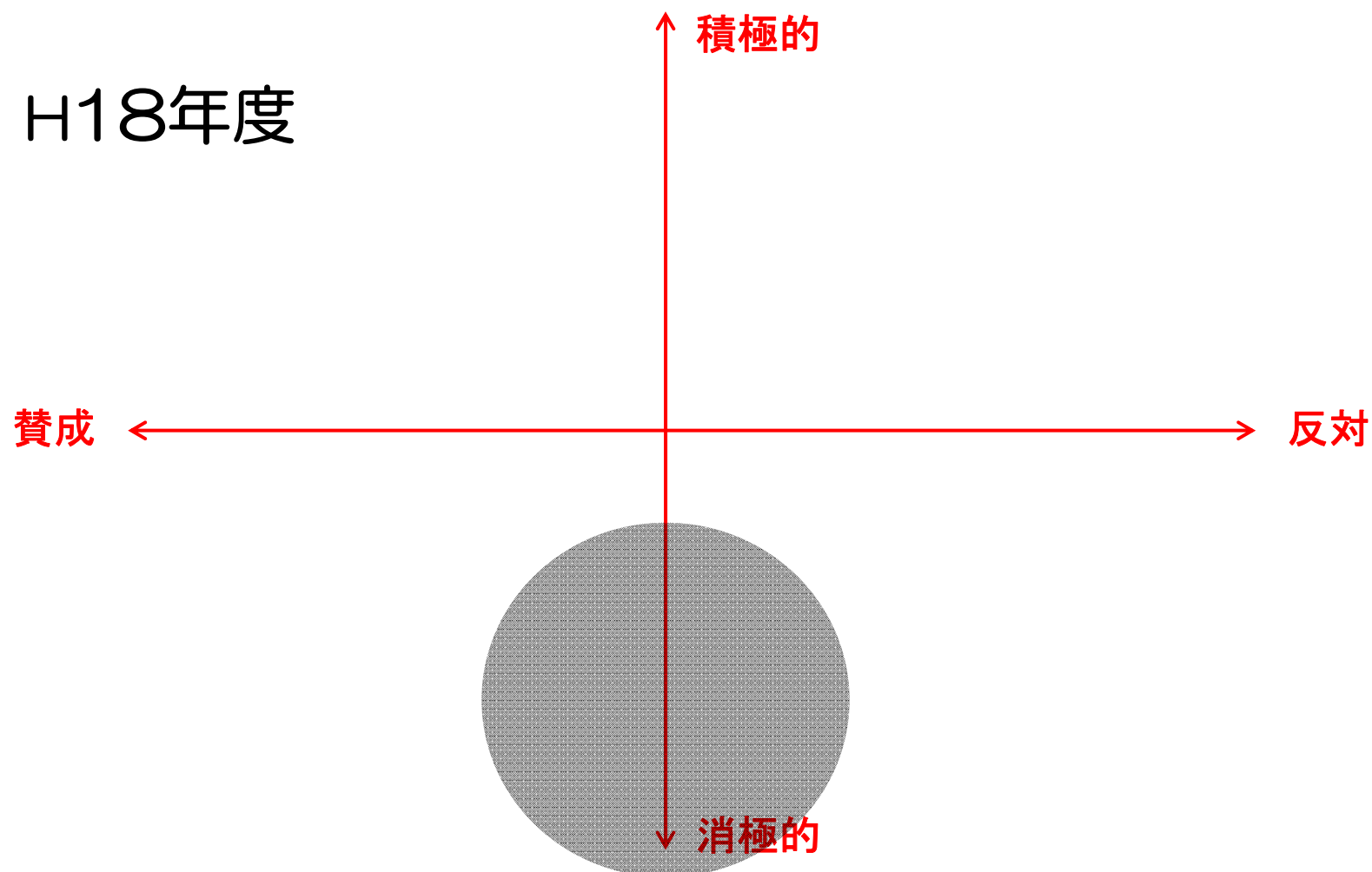
- ・ **アポが不要**
- ・ 比較的教員の機嫌が良い
- ・ 「今忙しいから」の言い訳が通用しない
- ・ 昼休みなので、貴重な労働時間を削らない

リポジトリに対する教員マインドの類型



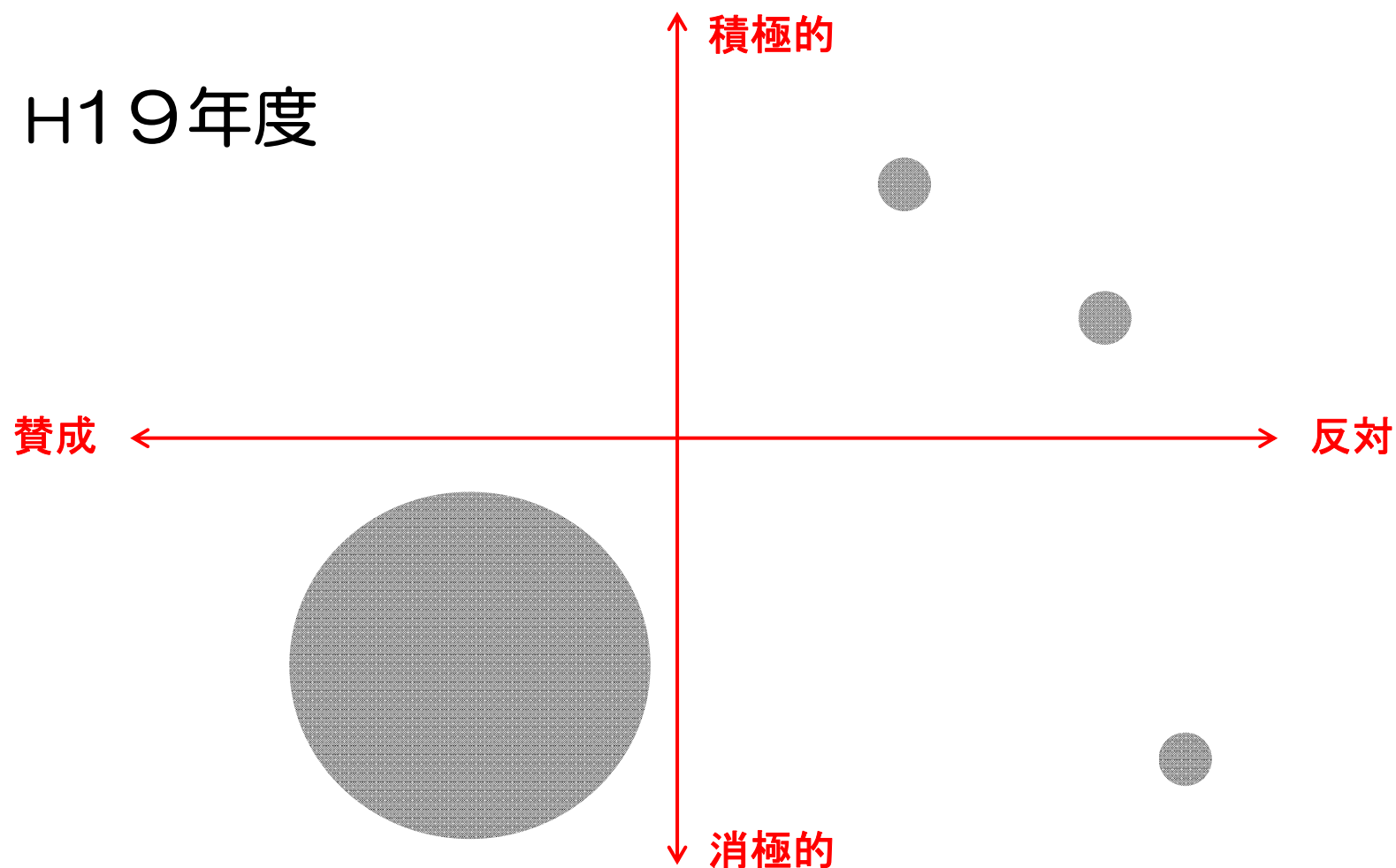
リポジトリに対する教員マインドの類型

H18年度



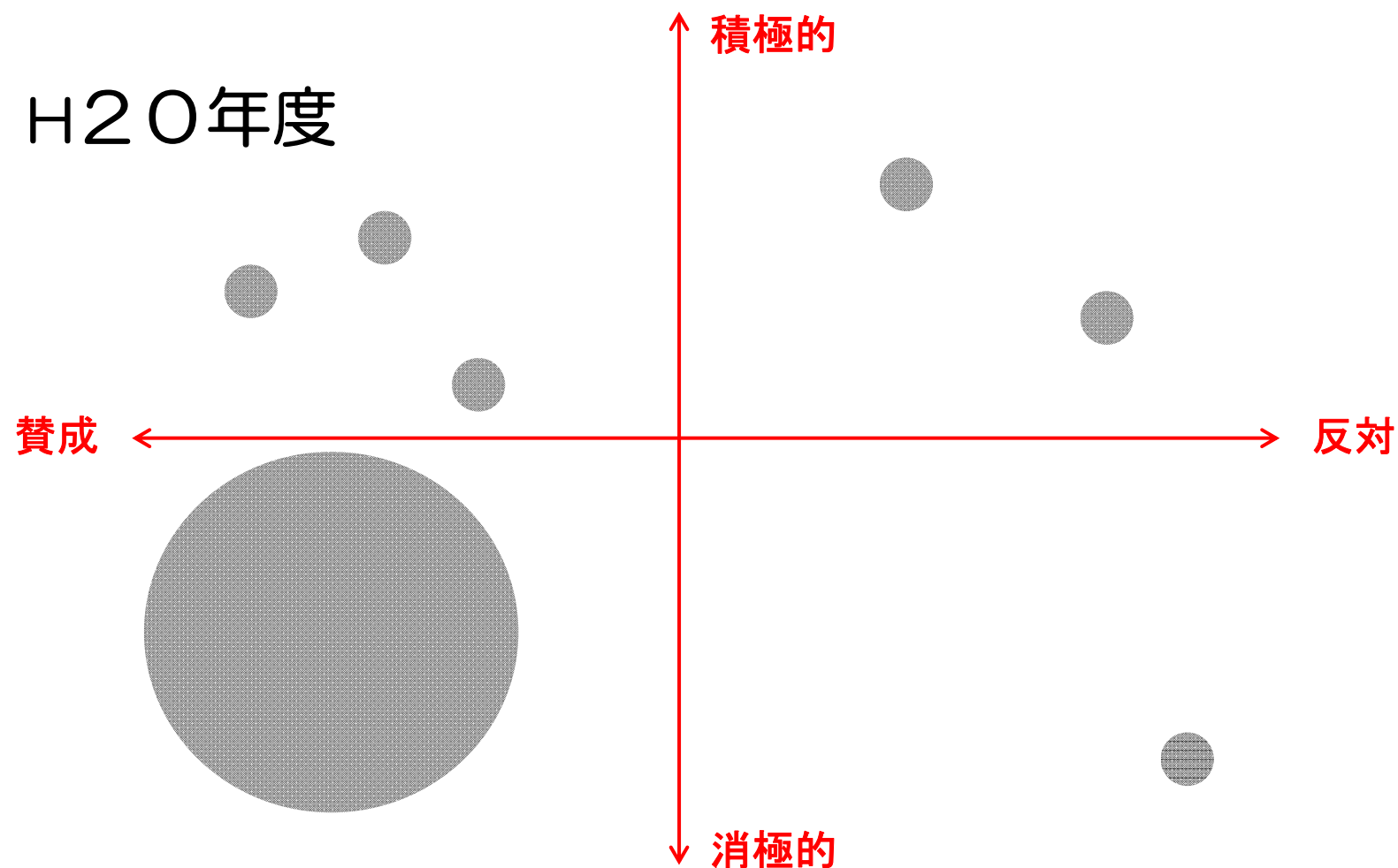
リポジトリに対する教員マインドの類型

H19年度



リポジトリに対する教員マインドの類型

H20年度



印象的な3つの出会い

1. 本学にも「世界初」の論文が...

“Pathway for the Transformation from Highly Oriented Pyrolytic Graphite into Amorphous Diamond “ <http://hdl.handle.net/10132/2489>

2. 科研費成果報告の制度変更による「追い風」

「論文等の研究成果を機関リポジトリで公開している場合は、論文等にアクセスするためのアドレスを記入すること」（成果報告書作成上の注意）

3. 「投稿規定枚数に収まらないAppendixを寄託したい」

C.リンチ

「機関リポジトリは、学術研究の記録や論文の不可欠な一部としてデータを重視する学術研究の**新しい慣習**をサポートすることができる。」(1)

引用文献

- (1)Lynch, C. 機関リポジトリ：デジタル時代における学術研究に不可欠のインフラストラクチャ.
国立情報学研究所訳. ARLレポート. 2003, 226
<http://www.nii.ac.jp/irp/archive/translation/arl/> (参照 2009-6-10)
- (2)Crow, R. **SPARC**学術機関リポジトリ・チェックリストおよびリソースガイド．千葉大学附属図書館IRワーキンググループ訳. 2003-3
http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/about/SPARC_IR_Checklist.pdf (参照2009-6-10)
- (3)阿藤品治夫. 機関リポジトリを軌道に乗せるため為すべき仕事：千葉大学の初期経験を踏まえて. 情報管理. 2005, 48(8), p.496-508

ご静聴ありがとうございました。